

【3-7】

湾・灘の区分	備讃瀬戸、備後灘
取組の名称	水産多面的機能発揮対策事業
事業期間及び事業費	事業期間:2018年度(平成30年度)～継続中(2020年度(令和2年度)) 事業費:9,659千円
事業体制	実施主体:福山の海をきれいにする会 【海底清掃及びモニタリングの実施】 活動組織構成員(福山市内の5漁協) 【海底清掃及びモニタリングへの同行,回収したゴミの処理等】 行政(福山市農林水産課等)
事業の背景・目的	2018年7月の豪雨災害による海洋汚染等の原因となる漂流,漂着物,堆積物の処理
事業場所の詳細	<p>田尻沖,走島沖,横島沖</p> <p>出典:国土地理院HP (<a href="http://maps.gsi.go.jp/">http://maps.gsi.go.jp/</a>)より作成</p>
事業内容	海洋汚染等の原因となる漂流,漂着物,堆積物の処理及びモニタリング調査

モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	[調査項目]ごみ回収量 [調査時期・頻度]年2回(12月, 3月) [調査場所]田尻沖, 走島沖, 横島沖 [調査地点数]3点(3海域) [モニタリング方法]底引き網漁法による採取
取組による効果・影響及びその判断基準等	2018年度(平成30年度)小型底引き船49隻により海底清掃を実施し, 56 m <sup>3</sup> のごみを回収。
モニタリング結果に対する見解	2018年度(平成30年度)に実施した海底清掃により 56 m <sup>3</sup> のごみを回収でき, その後のモニタリングでは, ごみの量はおよそ半分以上減少している。
モニタリング結果の分析及び活用の方法	ごみの量等を前年と比較し, 次年の活動への判断材料にしている。
関係機関等における連携・情報共有の方法	活動場所である本市の行政は, 活動組織に対して, サポートを行っている。
現状での課題	
今後の予定等	2019年度(令和元年度)以降生物量等のモニタリング調査を実施する。 2020年度(令和2年度)をもって「水産多面的機能発揮対策事業」は終了する。
取組事例についての発表資料等	
情報提供元	福山市経済環境局経済部農林水産課